

市民と市長との対話集会を開催

昨年12月に、農業者団体や学生、インバウンドに取り組む人たちと市長との市政に関する対話集会を開催しました。

上越地域の若手農業者で組織される「上越地域農業後継者グループひかり」のメンバーからは、「農作物の栽培技術を確立するため、長期的な支援を行ってほしい」「農産物をもっとPRし、販売を促進していただきたい」との意見がありました。市長は「皆さんの頑張りが地域の農業振興や若者が農業に携わっていくことにつながる」と激励しました。

県立看護大学の学生からは、「路線バスと高速バスとの接続を改善してほしい」など公共交通に関する要望がありました。



上越地域農業後継者グループひかり



県立看護大学



インバウンドに取り組む人たち

望があり、市長は「利便性向上に向けて関係機関に働きかけた」と答えました。また、「もっと観光PRをすべき」との意見には「一人一人がまちの良いところをPRしていくことも大切だ」と答えました。飲食店で外国人向けのメニューの作成などを行う事業者や民泊を営む人など、インバウンドに取り組む人たちからは、「外国人への情報発信が不足している」「外国人を一元的に支援する窓口が必要」など、観光面と生活面それぞれの対応に関する意見がありました。市長は、「外国人を受け入れるために備え、コミュニケーションをとって関わっていくことが必要」と話しました。

新年祝賀会を開催

1月6日、新春を寿ぎ、上越市のさらなる発展を祈る新年祝賀会がリジョンプラザ上越で開催されました。年頭にあたり村山市長は「すこやかなまちであり続けられるために、市民の皆さまとともにまちづくりを進め、20年後、30年後に、「あの時代があったおかげで今がある」と言われるよう精一杯努めていく」と決意を述べました。



年頭の辞を述べる村山市長



保倉川太鼓(浦川原区)の演奏による幕開け



2300人が参加して行われた賀詞交換

体操推進「地域おこし協力隊」に委嘱状を交付

1月8日、市が地域おこし協力隊業務を委託した、一般社団法人レインボージムナスティック大潟の女子体操競技指導者に採用された青山人土さん(兵庫県川西市出身)に、村山市長が委嘱状を交付しました。

今後は、大潟体操アリーナと上越体操場「ジムリーナ」を活動拠点とし、体操の競技力向上や市民の健康増進に関する活動を行っていきます。青山さんは上越の体操に取り組み子どもたちについて、「前向きに熱心に頑張る、真っ直ぐな子が多い」と述べました。

印象を語り、「来年度はインターハイ入賞、将来的にはオリンピック出場を目指して選手を育てたい」と抱負を述べました。

村山市長は「地元の人と一緒に頑張って、人脈や技能を発揮し、地域に根付く活躍してほしい」と激励しました。




村山市長と握手を交わす青山さん(写真左)

ごみの出し方に関するお知らせ

■問合せ…生活環境課 (☎025-526-5111、内線1020-1226、1020-1650)

4月から合併前上越市における乾電池等の収集日を変更します

4月から、合併前上越市における「乾電池」「ライター類」「蛍光灯」「電球」の収集日を以下のとおり変更します(分別ルールに変更はありません)。なお、合併前上越市以外の地域の収集日は変更ありません。また、「ごみ分別収集カレンダー」を広報上越3月1日号と併せて配布しますので、収集日を確認してください。

ごみの種類	現在(3月31日まで)	変更後(4月1日から)
乾電池・ライター類 	偶数月の第3火曜日	偶数月の第2火曜日
蛍光灯・電球 	奇数月の第3火曜日	奇数月の第2火曜日

※合併前上越市以外の地域の収集日は、これまでと変更ありません。

スプレー缶やライターは必ずガス抜きをしてください

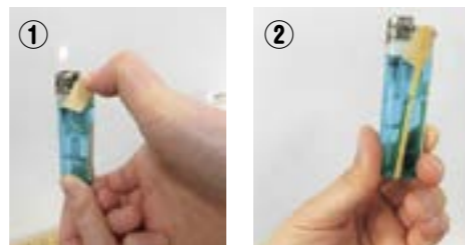
作業は風通しがよく火の気がない場所で行ってください。

スプレー缶の捨て方



中身を使い切ってから穴を開け、完全にガスを抜く「燃やせないごみ」の日に出してください

ライターのガスの抜き方の例



①操作レバーにガムテープを貼り付けて押し下げ、火を吹き消し、②輪ゴムで固定して、半日~1日放置する「ライター」の日に出してください

分別方法に困ったらこちらをご覧ください



家庭ごみの分け方出し方ガイド

ごみの分別区分を品目ごとに確認できます。配布場所は、生活環境課(上越市クリーンセンター)、南・北出張所、各総合事務所のほか、市ホームページからご覧いただけます。

上越市ごみ分別辞典

Web上でごみの分別区分を検索できます。スマートフォンやパソコンで利用できます。



ごみ分別辞典 QRコード

